



京放技ニュース

9 / 2020
(通算724号)

発行：(公社)京都府放射線技師会 TEL&FAX. 075-802-0082 E-mail: kyohogi@mbox.kyoto-inet.or.jp
ホームページアドレス http://www.kyohogi.jp/

〒604-8472 京都市中京区西ノ京北壺井町 88-1 二条プラザ

振込郵便口座 01070-3-11019

ゆうちょ銀行 店名(店番) 109 当座 0011019 シャ) キョウトフホウシャセンギシカイ

公益社団法人 京都府放射線技師会

出来ることからがこれからの新たな取り組みへ

(公社)京都府放射線技師会副会長 原口 隆志

すっかり暑い日が続いていますが、新型コロナウイルス感染症の第2波とも言える状況の中、皆様におかれましても非常にストレスのかかる日々が続いているかと思われませんが、体調管理に取り組みながらも感染対策を行い、コロナだけでなく府民の健康に対し検査・治療に携わっておられる事に敬意を表します。

日本政府の意向や各都道府県の意向と私たち医療従事者の現状にも乖離があるような状況で、はたまた日常の生活に於いても例年ですと夏休み期間でもありましたがなかなか外出するにも気が引ける事もあり、私も何処にも行く気になれず家で過ごしておりましたが、皆様は如何でしょうか？

当会の事業も今までのような形での開催も難しく色々と模索しているところです。会議は各委員会で Web 等インターネット環境での開催、また研修会においても当会以外で既に行われているような開催方法での準備を行っています。

これからの予定ですが、9月に「線量計校正講習会」を京都医療科学大学で、11月(日程は調整中)に「全地区委員会」並びに「第579回定例研修会」を Web 開催、日放技主催事業として11月に「フレッシュャーズセミナー」をホテルセントノーム京都、診療放射線技師基礎技術講習医療基礎コース「看護学」実習を京都府立医科大学看護学舎での開催に向けて準備しています。

日放技から開催や中止におけるガイドラインを提示され、今年度は社会状況により変更や中止も多々ある中ではありますが、可能な範囲で是非とも皆様の参加をお願いしたいところがございます。京放技ニュースやホームページで広報していきますので宜しくお願いいたします。

今後は、Web を利用した会議や研修会開催が行われていくことが増えてくるかと思われませんが、利点や問題点を見ながら、この先に向けての新たな取り組みとして検討し、会員の皆様がより当会の事業に参加しやすくなり、情報共有や知識向上に役立てることになればと思っております。アナログな私といたしましては色々と教えて頂きながら進めて参りますのでご協力をお願いします。

話は変わりますが、厚労省からの補助金等の情報につきましても地区理事からの広報も活用し、可能な限りリアルタイムな発信に努めてまいりますので宜しくお願いいたします。

追伸、この度年報の発行にあたり不備が生じたことを改めてお詫び申し上げます。

副会長就任の挨拶

（公社）京都府放射線技師会副会長 久保田 裕一

令和2、3年度の公益社団法人京都府放射線技師会副会長に就任しました、関西医科大学附属病院の久保田です。西南部に所属しています。理事会からの推薦をいただきまして、改めて2年1期を務めることとなりました。引き続き宜しくお願いします。

平成28年度より副会長を務めて今期で3期目となります。1期目は副会長としての重責の中、ひたすら目の前に与えられた仕事をこなし、技師会の事業を一つ乗り越えてはホッと、常に緊張した状態で見ると周りを見る余裕なく努めていました。2期目は、京都ブライトンホテルで開催した創立70周年記念式典や京都テルサで開催した令和元年度近畿地域診療放射線技師会学術大会を経験しました。大きな事業を理事全員で取り組むことは、学生時代に文化祭の準備した頃のようなようです。一つの物を作り上げていく。そこにはスタッフ間の衝突やトラブルもあり、常に順風満帆とはいえない中、目標に向かって進むことで達成感や団結力を得る。そんな雰囲気を出しました。当人達にとってはきれいごとではなく、時間も労力も求められて大変な重労働だったと思います。ですが理事の皆様や会員の皆様の協力がある、このような大きな事業を無事に終えられたことに感謝しています。またその一員でいられたことは喜びであります。これからの1期2年は理事の活躍をサポートし、会長の補佐役として、そして事業の効率化と事務所の整理に取り組みたいですと思っています。新型コロナウイルス感染症の影響により技師会事業は模索状態です。先日の巻頭言でお伝えしました京都府放射線技師会の新しい生活様式である「新しい理事会活動」に取り組み、会員の皆様と歩みを進めたいと思っています。どうぞ宜しくお願いします。

（公社）京都府放射線技師会副会長 原口 隆志

この度、令和2、3年度京都府放射線技師会副会長を務めさせていただきます原口隆志です。推薦を受け改めて、重責を担うこととなり身が引きまる思いを感じております。

今回で3期目となりますが、事業推進において会の中での役割調整などの難しさをさらに痛感しております。今期におきましても引き続き会長の補佐として執行部の皆様と協力し、事業の推進に邁進していきたいと思っています。

昨年度までは、例年の様々な事業に加え統一講習会の開催にも力を入れ、多くの方々に受講して頂いた結果、京都府にはある程度のご理解を頂けたかと思っています。また、近畿地域診療放射線技師会学術大会を無事盛大に開催できたことは、何より会員の皆様のご協力があることと感謝しています。

さて今期におきましては多くの事業を予定しており、研修会、学術大会、原子力防災関係や、日放技主催の基礎技術講習会と目白押しかと思いきや、新型コロナウイルス感染症の流行の影響により、中止等従来通りの開催方法では厳しい状況となっております。しかしながら、何とか総会も無事開催したところではありますが、改めて事業を進めるにあたりWebの活用等模索し、また社会状況を鑑みながら可能な限り開催し、今後にも生かしていけるものにしていきたいと思っています。

会員の皆様とともに医療人としての質の向上に努め、成長できればと思っており、本当の意味でのチーム医療への参加を目指し、微力ながら協力していきたいと思っています。当技師会では、多くの会務を日々行っておりますが、改選もあり新たに理事となった方々もおられる事もあり継続性をもって担当調整・教育を行うことが必要であり、会として重要事項ととらえて取り組んでまいります。

今後も何かと皆様のご協力をお願いすることとなるかと思いますが、何卒その際には宜しくお願い申し上げます。

理事就任の挨拶

【庶務理事】 後藤 正

このたび令和2、3年度の庶務委員会を担当する事になりました済生会京都府病院の後藤正です。昨年度までは学術委員会を担当しておりました。前任理事からの引継ぎが終わり、庶務業務に取り組み始めて1カ月程立ちましたが、改めて公益社団法人としての責務の重さを感じております。

学術から庶務へと全く畑違いの業務に戸惑いはありますが、今までと違った形で技師会に貢献できることが楽しみでもあります。まだ手探り状態ですが、今後、庶務の業務をまとめ、確立し、円滑な技師会運営ができるように進めていきたいと考えております。今後とも会員の皆様のご支援とご協力をよろしくお願い申し上げます。

【編集理事】 平井 靖

令和2、3年度編集理事を担当させていただく事となりました三菱京都病院、平井靖です。前2期は西地区理事をさせて頂き、技師会活動を経験しました。それまでは、毎月送られてくるニュースに軽く目を通し、たまに勉強会に参加する程度の一会員でした。いざ活動を始めると(たいしたことはできませんでしたが)、皆さん病院との「二足のわらじ」そのもので運営の大変さを知りました。今回お誘い頂き再び機会をいただき、どこまでできるかはわかりませんが、助けて頂きながら会務をしていきたいと考えています。

主な仕事としては、毎月の会報誌の発行です。諸先輩方が築かれて来られました伝統ある京放技ニュースを継続し次へつなげられるように努力しますので宜しくお願いいたします。

新型コロナウイルス感染症も再燃し、皆さんの職場である医療現場は感染リスクが高く、病院経営においても影響を受けておられることと思います。このような状況の中、頑張っておられる皆様に少しでもお役に立てるようまた元気の出る情報を掲載していきたいと思っております。宜しくお願いします。

【学術理事】 中川 政幸

昨年度まで東地区理事を2期4年間担当し、今年度より学術理事を務めることになりました、京都大学医学部附属病院放射線部、中川政幸です。診療放射線技師の学術イベントは、様々な主催によりあちらこちらで多彩な企画が催されて、今までは受け身姿勢で、どこか他人事のように捉えていました。しかし、これからは企画する側として立案、活動するということになり、責任の重たさを感じています。従来、イベントはある施設に集合して開催する形式でしたが、今年度は感染症の影響により、そのような開催は難しくなっています。どのような企画が最善なのか悩むところですが、大学の講義がオンライン中心に移行したように、我々もWebを活用した取り組みを検討しています。実際、当院における部内勉強会では、集合形式からオンライン化に移行したところ、参加人数が増加しました。開催会場に集合する労力や時間を考慮すると、オンライン開催は合理的であるとも考えられます。大きな変化を迎えている昨今、現時点でできることを模索しながら、活動して行く所存であります。どうぞご協力、ご参加をよろしくお願い申し上げます。

【広報渉外理事】三浦 健一

今年度より広報・渉外を担当いたします。京都岡本記念病院、三浦健一です。

広報・渉外の役割として、京都私立病院協会が毎年開催している「京都病院学会」の放射線部門を担当します。また京都府医師会が開催している「くらしと健康展」にも参加させてもらい府民の皆様への放射線被ばくの疑問や不安を解消するべく放射線なんでも相談コーナーを設けております。その他に「無資格者による診療放射線技師業務の防止」などの書類作成などがあります。広報・渉外の会務を全うすることは簡単ではありませんが、このような活動を通じて府民の方々に我々診療放射線技師の事を知ってもらう事で、被ばくや検査に対する不安を解消できるものだと信じています。また診療放射線技師の会員様にも法令遵守のもと安全・正確な検査をするよう働きかける必要があるとも考えております。

このような重大な責務を全う出来るか不安ではありますが、ひとつひとつの業務を丁寧になせるよう努力いたしますので、皆様のご協力をお願い申し上げます。

【北地区理事】安藤 公人

皆様ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

このたび、北地区理事に選任され就任いたしました京都第二赤十字病院、安藤公人と申します。つきましては、役員及び会員の皆様のお力添えのもと微力ながら技師会の発展に尽力いたす所存です。2年間どうぞよろしくお願い申し上げます。また、新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言が5月25日に全国で解除されましたが、7月には早くも首都圏を中心に感染者が急増し各地に広がりました。このまま年末に向けどうなっていくのか不安でなりません。お盆の帰省やGoToトラベルキャンペーンによる旅行など国と都道府県さらには専門家らの意見が分かれ、経済活動を維持しながらの感染対策は非常に難しいかじ取りとなりそうです。私も今年は帰省も旅行もあきらめ、お家BBQと手持ち花火でプチ夏です。最後になりましたが、感染対策力は個人の意識と実行力に大きく左右されると思いますので、公私ともに細心の注意を払って生活したいと思えます。一刻も早い終息を願って！

【中地区理事】尾関 裕彦

令和2、3年度中地区理事を務めさせて頂く事になりました、京都市立病院、尾関裕彦と申します。技師会活動としましては経験が乏しいため、中地区の皆様のお力をお借りしまして任期を務めていきたいと思えます。不慣れのため、ご迷惑をおかけする事もあるかと思えますが、中地区会員の皆様と技師会の橋渡しになれるよう努力していきたいと思っております。これから2年間よろしくお願い致します。

【東地区理事】加藤 良美

この度、令和2、3年度の東地区理事を担当することになりました京都第一赤十字病院、加藤良美と申します。以前、地区委員を務めさせていただいたときは電話・ファックスが主な通信手段でした。時代も変わり便利な世の中になりましたが、新型コロナウイルス感染症拡大が続く中、「新しい技師会活動」を模索し、提案していければと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

【西地区理事】森 吉修

今期、京都府放射線技師会西地区理事を拝任致しました京都桂病院、森吉修と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

新型コロナウイルス感染症の影響により、様々な業務に不自由・制限を受ける中、皆様大変ご苦労されていると思います。このような時、皆様も多施設間の情報交換の必要性を感じておられるのではないのでしょうか。そのような施設と施設の間、また皆様と京都府放射線技師会との間の橋渡しに、微力ではございますがお力になればと思っております。

とはいえ私自身、西地区委員を2期させていただきましたが、まだまだ京都府放射線技師会の多岐にわたる活動を存じておらず、今期地区理事として行き届かないことが多々あるかと思っております。ご不便、ご迷惑をおかけすると思っておりますが、何卒ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

重症化することが少なくなってきたとはいえ、私たちへの感染の可能性は高まってきているように思います。皆様どうぞお身体ご自愛ください。

【南地区理事】杉原 哲雄

この度令和2、3年度南地区理事を務めさせていただきます京都きづ川病院、杉原哲雄です。昨年末からのCovid-19流行、4月には「診療用放射線の安全利用」に関する医療法施行規則改正、診療報酬の改定など我々、診療放射線技師にとって慌ただしい年度初めとなりました。会員の皆様におかれましてもご苦労されていることと思っております。そのような情勢で研修会・講習会の中止、延期など技師会活動に様々な影響があるなかで今回、地区理事という大役を任命され私なりに先輩理事の支援、地区委員や会員の皆様のアドバイスを頂きながら迅速な情報発信など技師会活動に少しでも貢献できるよう努力していきたいと考えます。今後とも技師会運営にご理解、ご協力お願いいたします。

【両丹地区理事】村上 昭彦

この度令和2、3度の両丹地区理事を拝命しました、綾部市立病院、村上昭彦と申します。地区委員4名と共に歴代の地区理事が築いてこられたこの地区での活動を継承し、会員の皆様から意見を承りながら、両丹地域ならではの情報発信を行い、有意義な地区活動を図って行きたいと思っております。昨今、コロナ禍の影響で研修会等の開催が未だできていませんが、今後とも宜しくよろしくお願いいたします。

『第55回京都病院学会』報告

広報・渉外委員会 三浦 健一

6月14日（日）9:00から7月12日（日）17:00までの期間、Webによる第55回京都病院学会が開催されました。昨年に引き続き会員施設の医療従事者は、参加費無料で登録制での参加となりました。また、今回の総参加者数（アカウント数）は1440名（前回より964名減少）で、うち診療放射線技師の参加者数は103名（全体の7%）でした。前年に引き続き基調講演と特別講演はアンケートで90%以上の人が高い評価となりました。また、放射線部門からは24題エントリーされ、どの演題も日常の業務に活用できそうな素晴らしい内容でした。

今学会は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から急遽Webを活用とした学会に切り替えられた為、十分な準備期間が取れないまま開催に至ったことで多くの方にご迷惑をおかけしましたが、演者および関係者の方々のご理解とご協力のおかげで無事に学会を終える事が出来ました。

最後に、今学会にご協力いただきました方々に厚く御礼申し上げます。

「看護学」実習の開催のご案内

診療放射線技師基礎技術講習医療基礎コース

公益社団法人日本診療放射線技師会
教育委員 原口 隆志

開催日時：2020年11月21日（土）10:20～17:30（時間は予定です）

開催場所：京都府立医科大学看護学舎

1階大講義室及び実習室（京都府京都市上京区中御霊町410）

定員：30名

受講料：10,000円 ただし、会員は3,000円

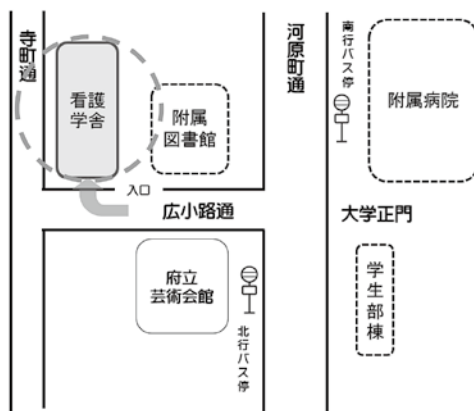
申込方法：JART情報システム内「生涯教育・イベント参加のお申し込み」
から申し込み下さい。

申込期限：2020年11月8日（日）まで

※定員になり次第、締め切ります。

プログラム：

	11月21日(土)	看護技術(講義・演習)
9:30～10:20	受付	
10:20～10:30	開校式	
10:30～12:00	感染予防・手洗い 身体支持・検査介助	90分(30分講義+60分実習) 講師：山本容子 講師 筒井佳澄 助教
12:00～13:00	昼食	60分
13:00～15:00	身体の移動(車いす・ストレッチャー) 「位置移動」	前半(120分)(30分講義+90分実習) 講師：滝下幸栄 准教授 筒井佳澄 助教
15:00～15:10	休憩	
15:10～17:10	身体の移動(横移動・起き上がり) 「体位変換」	後半(120分)(30分講義+90分実習) 講師：關戸啓子 教授 原田清美 准教授
17:10～17:20	休憩	
17:20～17:30	閉講式	技師会



編集後記

最近「Web」（Web会議、Web学会、Web飲み会等）という言葉を目にする、聞くことが頻繁にあります。私も言われるままに2回のWeb会議と今回のWebによる京都病院学会に参加させて頂きましたが、皆さんは普通に活用されていることと思いますが、私はそう言うことには疎い方で、一度意味を調べてみると、Webとは、「ハイパーテキストと呼ばれる仕組みを利用してインターネット上の様々な情報（テキスト・画像・動画など）を関連付け、結び付けるシステム」「情報と情報がまるでクモの巣のように網目状に張り巡らされた世界」と言うことです。わかったような???です。まだまだ新型コロナウイルス感染症もおさまる気配もない中、ますます活用されていくことが多くなるとは思いますがいかに使えるか、使われるか。頑張ってみます。

編集委員会 平井 靖

▶9月以降の日放技・京放技活動

- ・ 9月6日(日) 線量計校正研修会 京都医療科学大学
- ・ 11月1日(日) フレッシュアップセミナー ホテルセントノーム京都
- 全地区委員会 (Web開催)
- ・ 11月21日(土) 診療放射線技師基礎技術講習医療基礎コース (看護学) 京都府立医科大学看護学舎

▶9月以降の中止となった研修会・勉強会

- ・ 両丹地区夏季研修会
- ・ 11月3日(火) 日放技 基礎技術講習会 (超音波検査) 神戸大学病院
- ・ 12月6日(日) 日放技 基礎技術講習会 (撮影セミナー) 京都府立医科大学